

平成28年

第15回

ひとひと

# 女と男の一行詩



応募者数 465名  
応募総数 1181点

## 最優秀賞

違う意見にハッとすゐ。

決めつけてたのは私??

当たり前と思っていたけど、社会の変化に気付かないまま思い込んでいる自分を、周りの人から知らされます。色々な意見が活かされた社会になって欲しいものです。

高橋 幸子さん (一般)

## 優秀賞

女性が輝く 未来の社会

私がつくっていいですか??

男女共同参画社会実現に向けて行動を起こさなければならぬのは私たちのような若い世代の人々です。そんな未来の社会づくりへの意気込みを一行詩にのせました。

上野 陽希さん (高校生)

## 優秀賞

「頑張れ」と声だけ掛けて 夫寝る。

私は2歳の娘がいる父親です。共働きです。産休時期、妻には申し訳なかったですが、「夫寝る」でした。妻が職場復帰してからは、「妻眠る」が理想です。小柳 博嗣さん (一般)

## 入選

決めつけず

出来る方がやればいい

家事や育児は女性のしなくてはならないことではなく、出来る方がやれば効率でお互いの平和も守れると思っています。

伊藤 優花さん (高校生)

## 入選

家事仕事 どちらもやり抜く

母強し。

いつも家事も仕事も両方をやり抜く母はすばらしいと思います。母は私の母親としても尊敬する人ですが、一人の人間としても尊敬する人物です。

小林 あきほさん (高校生)

## 入選

おたがいに 感謝の気持ち

忘れずに 自分の想い

伝え合おう

今の時代は「ありがとう」と素直に言うことや自分の気持ちをしっかりと自分の口から言えず、相手に伝わらないことが多いと思っただけです。山路 海那さん (高校生)

## 決点

「ありがとう」と「ごめんなさい」が

社会と家庭の円満の言葉

田中 梨絵さん (一般)